



【うちやま まさお さん】 稲穂 / 58 歳

●教育委員会主催のチャレンジ教室のボランティアを行うとともに、ボランティアでつくる「子ども活動支援ボランティアの会『キラリ』」の代表を務めるなど子どもたちの体験活動を支援している。

## 子どもたちに自ら考える 力を身につけてほしい！

教育委員会では、子ども活動支援のボランティアを募集しています。詳しくは、17ページをご覧ください。

**小** 学生を対象に工作や科学実験などの体験活動を行う子ども放送局チャレンジ教室。毎月、教育委員会庁舎や図書館などを会場に教育委員会が主催して開催しています。

内山さんは、この教室の運営ボランティアとして子どもたちの体験活動に情熱を注いでいます。また、ボランティアで組織する「子ども活動支援ボランティア『キラリ』」の代表としても活躍しています。

以前から町内会の青少年活動をはじめ支笏湖パークボランティアやサケのふるさと村教授会などたくさんボランティアをしてきたという内山さん。

「チャレンジ教室のボランティア募集を見て、これまで得てきた知識を

生かして、たくさん子どもたちに教えたいと思い応募しました」ときっかけを話します。

内山さんは、毎月第2土曜日に行っているチャレンジ教室の運営にあたるほか、学級レクリエーションなどへの出前講座を行い、小学生を中心とする子どもたちの体験学習を支援しています。チャレンジ教室の内容は、うどん打ち体験、お守りなどの小物作り、工作、科学実験、マジック体験などさまざまです。

「最近では、大人が少しの失敗にもすぐ手を出してしまい、子どもたちの想像力の芽を摘んでいるように思います」と大人と子どもの関係が気になるという内山さん。

「チャレンジ教室では、子どもが失

敗してもボランティアはすぐには手を出さず、なぜ失敗したか考えてもらうようにしています。自分で工夫する心や応用力を育てたいと思います」と話します。

ボランティアの数を増やして多彩な活動をしたいという内山さん。

「このボランティアには特別な知識や経験は不要です。教室での子どもたちの十人十色の反応が楽しく、私たちが教室を続けていく力になっています。子どもたちに体験活動の場を提供しながら私たちも子どもを通じてたくさん学ぶことができます。臆せず気軽に参加してともに活動してみませんか」とほほ笑ましいまなざしで語ってくれました。

人 の い る 風 景

SCENERY OF PEOPLE



MASAO  
UCHIYAMA

内山

雅夫

さん